

文化七尾



第34号



新春の七尾湾
「三ヶ口瀬戸」

年頭にあたって



七尾市文化協会

会長 武元 文平

新年あけましておめでとようございます。皆様には平成26年の新年を健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。

昨年は各団体、市民の皆様の多大なご尽力をいただき、市民の文化活動推進に大きな成果を上げることができたものと思います。関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。

今年もそれぞれの活動が、新しい発想や取り組み実践で、文化協会の活動の輪が一段と広がり、市民の皆様と共に楽しい年、元氣な年になりますように、がんばっていきましょう。

今年も当文化協会が合併して10周年を迎える年です。旧の1市3町のまつりや伝統を、自分の町わが七尾の誇りとし、また新しい演劇文化も七尾の文化として定着させました。文化活動によって七尾市民の一体感がより深まったように思います。

今年10周年記念事業を計画しております。考え方として、長谷川等伯に想いを寄せ、等伯に学び、等伯を生み育てた能登島山の文化的土壌や歴史、先人、先達の足跡を尋ね、今後の七尾の文化振興発展と文化都市七尾のまちづくりに寄与していけるものにしていこう、というものです。

北陸新幹線、能越道の開通は、七尾の魅力、伝統芸能や文化を発信する良い機会です。豊かな自然と人情に育まれた伝統文化を継承し、新しい文化を創造していきたいものです。皆様には今年が飛躍発展する年になることを祈念致します。

七尾市文化協会賞表彰式・新春の集い

文化の薫る新春の集い

去る1月11日（土）六時から和倉温泉あえの風で、会員等二百二十名の参加により「七尾市文化協会賞表彰式」並びに「新春の集い」が行われた。そして、今年の新春の集い、市三町文化協会合併10周年の節目を機に、なお一層の七尾の文化の発展を誓い合った。

表彰式では、武元文平協会長より十一名の受賞者に賞状・記念品が手渡され、特別功労賞の池田輝二郎氏が代表し謝辞を述べた。新春の集いは、武元会長の式辞、不嶋豊利市長、北村茂男衆議院議員、和田内幸三県議会議員、西田昭二県議会議員、四氏の祝辞、祝賀舞、桂徹男市議会議長の乾杯で宴が始まり、格調高い四団体の祝賀の舞台が催される中、会員相互の楽しく豊かな交流が行われ、文化協会全体の絆を深めた。そして、神野正博副会長の中締め、橋元道彦理事長の挨拶で名残惜しく集いを閉じた。



吟道錦城流 七尾城山詩吟会



文化協会賞受賞者

七尾まだら



新春の集い 会場の様子



正派若柳流 一柳会



青柏民謡会

平成25年度 七尾市文化協会賞

【文化賞】



辻口 八重子氏
 【所属】中島町公民館句会
 昭和20年、故大森碩琴氏に師事以來、生業農林業を素材に、虚子句の真髄に迫り、深は新なり、をモツトトに、見るから観る」への視点から、平成13年に全国六トトキス大会賞を受賞。「石川の八重子」、農林業の八重子」として、全国的に名声を博し、指導者としても絶大なる信望を得ながら活躍中である。

【文化賞】



高田 邦城氏
 【所属】吟道錦城流七尾城山詩吟会
 昭和35年、七尾城山詩吟会に入会し、平成8年吟道錦城流御免許を取得。長年吟道錦城流総本部の役員として、各種詩吟大会（北嶽三県詩吟剣詩舞道大会、九月十一夜軍中の作全国詩吟大会など）の運営に参加し、公員の指導育成に尽力。文化を通して地域ボランティア活動に対しても功績は大きい。

【文化賞】



磯貝 良雄氏
 【所属】宝生流馬蝶同門会
 昭和35年、謡曲に初めて出会ひ、故丹後関太郎氏に師事。それ以来馬蝶同門として研鑽を積み、昭和41年入門の免許、その後初伝・中伝として昭和54年には奥伝の各免許を宝生流宗家より伝授し、研鑽中である。今も尚、幾多の謡曲大会に参加し盛り上げ、地域の能楽文化の普及発展に尽力、貢献している。

【文化賞】



大森 カズ氏
 【所属】おこぜの会
 昭和57年に七尾市食生活改善推進協議会会長に就任、七尾市民の食生活改善のため、平成17年に料理研究を目的に有志と共におこぜの会を発足する。豊かな経験・知識・指導力を発揮し、「じわもん御膳」「祭りごっつお」「等伯京御膳」など郷土色に満ちた料理を創作提供し、食文化の発展に貢献している。

【文化賞】



工口 静蓉月氏
 【所属】日本剣詩舞道静山流工口静蓉月社中
 昭和40年、剣詩舞道の魅力に触れ、昭和61年全日本剣詩舞道段位審査会剣舞4段認可の後、静山流詩舞の部皆伝師範認可を伝授し、門下生を育成する。歴史ある郷土七尾に剣詩舞道を根付かせようと、平成9年工口静蓉月社中を設立し、多くの剣詩舞道家を輩出、詩舞文化の向上に貢献している。

【特別功労賞】



池田 輝三郎氏
 【所属】きらく会
 七尾市文化協会設立以来、協公事務所「池田家」の所有者として、伝統的建築と庭園の管理の支援を惜しむことなく、協会会員に素晴らしい文化的環境を提供し続けている。また、美術品に造詣が深く、七尾市民の文化意識の向上に尽力し、その功績は高く評価されている。

【文化賞】



若柳 吉一賀氏
 【所属】正派若柳流一柳会
 日本舞踊正派若柳流、柳会公主。昭和22年、先代吉一賀（伯母）に入門し、昭和28年より金沢・東京で、修練を積む。以来、名取、師範を取得し、諸法の舞台に出演。また、門下生の成長を第一に幾多の舞踊会を催し、地域の古典舞踊の裾野を広げる活動をしている。

【文化賞】



関 紅枝氏
 【所属】城山民謡会
 昭和48年、七尾城山民謡研究会（5年後、城山民謡会と改名）創設以來、指導は七尾のみに留まらず、仲間を通して同外へまでも多くの舞台をこなす。会の舞踊部長として民謡舞踊を担当。自ら研鑽に励み踊りながら、多くの踊り手を熱意を持って根気よく指導育成し、民謡民舞の発展に貢献度は大きい。

【文化賞】



野中 未知子氏
 【所属】七尾美術作家協会
 昭和37年、金沢美大卒業後、長年教壇で美術・彫、後継者育成に尽力する。現代美術展委嘱の部長賞を受賞するなど、作品の抽象的表現画風は、深い愛情と大宇宙を連想させる。独白性と自在性は自らも美意識と研鑽によるものであり、その魅力的な作品は、地域の美術文化の発展に多大に寄与している。

【文化賞】



中西 清一氏
 【所属】青柏民謡会
 昭和37年、故吉倉三三氏設立の北都民謡会に入会、祖父（故孫左衛門氏）の教えに実を結び、その後自己研鑽に励み、歌詠力・指導力では多方面で評価が高い。「正調能登府こぎ唄」の伝承者として、後継者育成に尽力、活躍中である。青柏民謡会生みの親、地域の民謡文化の普及発展に大きく貢献している。

【文化賞】



内藤 雄鵬氏
 【所属】一聖会
 読売書法展・現代美術展などで輝かしい受賞歴を持つ。石川の書展・七尾市美展審査員、白鷺会・一聖会参加として、強いリーダーシップと独創的発想で各展の成功、会の発展に大きく貢献している。また、地域各方面でも要職を任せられ、芸術文化の発展に尽力し、その貢献度は大きい。

事業名	日時	主催者・会場名	内容
展覧会 「いのりの美術～ 人びとが願いを込めた造形～」	平成25年12月21日(土) ～平成26年2月16日(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)	主催 七尾市・公益財団法人 七尾美術館 会場 石川県七尾美術館	当館所蔵品・寄託品より古今の様々な「いのり」に関する作品を、仏画を中心に25点を紹介。長谷川信春(等伯)筆「愛宕権現図」など「長谷川派」作品も展示中。同時開催は「織部焼～それは、時代をうつしたやきもの～」で、当館所蔵品の中核「池田コレクション」より織部焼などを紹介している。 入場料／一般350円(280円)・大高生280円(220円)・中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金。2/11(火・祝)は65歳以上の方、観覧料無料。 ☎53-1500 石川県七尾美術館
七尾茶道会 月釜	2月16日(日) 9:00～14:00	主催 七尾茶道会 会場 本龍寺(郡町)	新春の初釜となります。薄茶・服さし上げたく、皆様のお越しをお待ち申し上げます。 茶会料／1,500円 ☎52-6842 表千家石川県青年部 細谷桜子
本咲き雪割草銘品展	3月8日(土) ～3月9日(日) 9:00～17:00	主催 七尾山草会 会場 能登食祭市場 1階 里山里海小路	ひとあし早い春をお届けします。会員が愛増した、雪国の華やかで美しい花を展示します。併設・苗の即売コーナーもあります。 入場料／無料 ☎57-2023 垣内フラワー(七尾市白馬町)
七尾茶道会 月釜	3月16日(日) 9:00～14:30	主催 七尾茶道会 会場 池田家	春めく一日をお雑様を眺めながら一服いかがですか。 皆様のお越しをお待ち申して居ります。 茶会料／1,500円 ☎52-1613 加地宗節
「等伯に寄す」 草月流中央会いけ花と 北陸京都市きもの総合学院 帯結び展	3月17日(月) ～3月20日(木) 9:00～18:00 ※17日は13:00～18:00 最終日は15:00まで	主催 草月流中央会 北陸京都市きもの総合学院 のど共栄信用金庫 本店 のとしんギャラリー	古き時代の着付と現代着付帯結びの展示と帯結びに調和する単純化のいけ花展を開催致しますので、ご覧下さい。 入場料／無料 ☎52-5676 佐野留美波
「等伯に寄す」 第13回華道池坊七尾 連合会花展	6月14日(土) ～6月15日(日) 10:00～17:00	主催 華道池坊七尾連合会 会場 フォーラム七尾 4階 大ホール	七尾市文化協会合併十周年記念事業である「等伯に寄す」をテーマに、その時代の雰囲気を感じていただければと思っています。 いけばな池坊の伝統花から現代花までの作品など、日頃の研鑽した成果を披露させていただきたいと思っております。 入場料／無料 ☎57-3382 島崎隆楓

池田家名園 侘寂の露地(五)

嫺々と流れる水 僅かな起加減で時に逆る水滴。
 類い稀な石と邂逅し、僥倖。
 瀟洒で寡黙な自然を前に、思わず襟と正さずにはいられない。
 細部の貌まで忽にしないそこに得も言われぬ凄みを感じる。

長生殿裏春秋富
 不老門前日月遅

和漢朗詠集に収められる慶滋保胤の漢詩。
 この漢詩は長生殿・不老門という建造物から不老長寿を
 推量させ、帝の万歳長久を慶賀したもの。

不老門を潜る時、時間が緩と迫み、年を取らない不老の
 時と得ることが出来るかと謂う。

珍重 珍重



第42回 七尾市民音楽祭

開催日 平成26年 3月16日(日)
 時間 開場 11時30分 開演 12時
 場所 七尾サンライフプラザ 大ホール
 入場料 無料

【出演団体】

七尾吹奏楽団、70ラブサウンズ、「502」、俊友会合唱団
 ドルチェ・ママ、能登ピアノレスナー会、ルビーフォーク、
 中島町フォークダンスサークル、セブンス・コード、
 歌謡・小菊会、玉木社中 箏祥会

【ゲスト】

小丸山小4年生、宍戸フルーツ教室、ARIKA、みなと保
 育園園児、きらきらKids、古典フラブアリリ

主催：七尾市文化協会
 共催：七尾市教育委員会
 主管：七尾市文化協会音楽部門運営委員会
 後援：北國新聞社・NHK金沢放送局・テレビ金沢
 エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオななお

発行 七尾市文化協会
 〒926-0021
 七尾市本府中町モ64池田家内
 TEL 53-0596 FAX 54-8550
 Eメール: mail@bunka-nanao.jp
 ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員：大橋寛 谷口忠 細川一絵 寺口啓作 家村静江
 発行日 2014年2月5日

会員のみなさまへ

※「文化七尾」次回35号は平成26年4月4日発行となります。
 原稿締切は、平成26年3月15日です。